



広報 なかわだ

2016年1月

中和田カトリック教会
広報委員会

第429号

2016年1月3日

泉区中田北1丁目9-1 Tel. (045) 803-6141

<http://nakawada-catholic.com>



我が主 イエス・キリストの御降誕と

2016年の新年を心よりお祝いいたします

フランシスコ・ザベリオ 日野 武満 神父

昨年の12月8日より2016年11月まで特別聖年が、

[MISERICORDES SICUT PATER NOSTER
ルカ6,36・(ラテン語)]

あなたがたの父が憐れみ深いように・・・始まりました。

1300年の教皇ボノファチウス8世から50年ごと、25年ごとに行われてきました。ローマの4大聖堂の中心にフランシスコ教皇の姿が写っています。特別聖年の宣言者です。

世界が神のみ旨によって平和がきますように祈りましょう。



日	曜	典 礼 (ミ サ)	備 考	そ の 他
1	金	祭日ミサ (10:00)	神の母聖マリア [祭] 元旦ミサ	
3	日	主日ミサ (9:00)	主の公現 [祭]	
8	金	週日ミサ (9:30)		
10	日	主日ミサ (9:00)	主の洗礼 [祝] 成人祝賀	教会委員会
13	水			聖書の会 (10:00)
15	金	週日ミサ (9:30)		
17	日	主日ミサ (9:00)	年間第2主日	信徒の会
20	水			聖書の会 (10:00)
22	金	週日ミサ (9:30)		
24	日	主日ミサ (9:00)	年間第3主日 子どもミサ	
27	水			聖書の会 (10:00)
29	金	週日ミサ (9:30)		
31	日	主日ミサ (9:00)	年間第4主日	信徒大会

中和田教会ホームページをリニューアルしました！

2003年に開始した中和田教会ホームページも、次第に新しいインターネット環境や技術に馴染まなくなって来ました。そこで、中身も体裁も全面的にリニューアルを行い、11月3日にリリースしました。

このホームページは、40余年にわたる「中和田教会の歩み」を記録するデータベース機能も兼ねています。またURLも

<http://nakawada-catholic.com>

と単純にしました。ぜひ、ご覧ください。(中和田教会HP管理人： 小野 雅彦)

～ 中和田の風 ～

「隣人愛」

－ 夢は中和田教会の活性化 －



教会委員長、岩渕英介さん（68歳）に中和田教会将来像についてお話を伺いました。

▲受洗に至った経緯をお聞かせください。

⇒カトリック系の中高一貫校だったので放課後に要理の授業がありました。中2の頃は普通の生活感覚から程遠い旧約聖書は嘘っぱちだと思い反発を感じて質問ばかりしていました。しかし不思議なことに高校でも自由選択にも関わらず要理を取りました。天気の良い10月のある日曜日、要理の先生に誘われ、数名の生徒とお弁当を外で食べようということになりました。土手に座ってお弁当を食べ終わった後、寝転がって澄んだ青空を見上げたとき「ああ、神様はいてもいいんじゃないかな」と直感で洗礼を受けようと思いたち、その年のクリスマスに受洗しました。

受洗後に全く迷いが生じなかったわけではありませんが、現在は物理学、生物学、人類学等は事実を追及する学問であり、一方キリストが教える「愛」は人類普遍の価値として両者を完全に分けて考えるようになりました。

▲「教会建物を考える会」ではどのようなことが話合われていますか？今後の中和田教会の将来像をお話ください。

⇒当教会は今年で献堂42年目になり老朽化が激しい。水道、屋根、窓等の改修は今すぐにでも必要だが、それだけでも多額な費用がかかってしまう。その他、神父様居室、電気系統、完全バリアフリー、使いやすい集会室、避難通路の設置、聖堂の日中開放など、改修する必要が多々ある。これらを考慮し長い目で見ると次世代のためにも個別に改修するより早期に建て直すことが最善であると結論づけました。教区に資金を借りるためには自助努力が欠かせませんので皆様のご理解とご協力をお願いしたいと思います。

▲信徒は高齢化、減少傾向にあります但教区から資金を借り入れたとしても返済のめどはあるのでしょうか？

⇒現在の信徒数は337人。年齢分布を見ると現在中心となって活動している層は60代から80代だが、30代後半から50代の層が更に多いことがわかった。この世代の人たちも定年を迎え教会に戻ってくる可能性は高い。また当教会は地の利が良い。地下鉄立場駅、夜間救急診療所、立場地区センターがあり、新しい住宅、アパート、マンション等が次々と建ち人口が増加している。この地の利を生かして次世代の信徒が戻りたいと思える教会、近隣のお年寄りや若い世代の方々が行ってみたいと思える親しみやすい教会を再建すれば人は徐々に集まってくるのではないのでしょうか。共同体の一員である私たち一人ひとりが積極的に教会を建て直そうという目標を持ち、教会ならではの魅力あるイベントや活動等アイデアを出し合い、内側からも外側からも活性化された中和田教会にしていくのが私の夢です。

▲最後にキリストの教えで一番大切にしていることは何ですか？

⇒「隣人愛」ですね。「キリストの愛」の教えは人が生きていく上で大切な教えだと思っています。キリストの愛は心を柔らかくします。教会の良いところはキリストの愛を中心としてお年寄りから幼児まで交われる場でもあります。信徒のご家族で未信徒の方、近隣の方々に「キリストの愛・隣人愛」を伝えていきたいと思っています。



泉区民クリスマス2015

12月19日(土) 障害者支援施設リバーサイド泉の皆様に泉区連合聖歌隊がイエス様の降誕を賛美する美しいエルガーの作曲とクリスマスキャロル等をお届けしてきました。その他「上を向いて歩こう」「ドレミの歌」など利用者の皆様と歌う場面では職員の方たちに手拍子を頂きながら楽しく歌うことができました。

21日(月)の泉区民クリスマスでは例年のことですが、子どもたちの踊り、歌、聖劇など一生懸命演じる姿に感心させられました。中でも今年は特別ゲストの横浜英和女学院中学高等学校コーラス部の美しく澄んだハーモニーに会場全体が魅了されました。その他バイオリン演奏、ゴスペルなどもありバラエティに富んだコンサートとなりました。

最後に「きよしこの夜」を会場が一体となって合唱しました。横浜聖クリストファー教会司祭のメッセージ『私たち一人ひとりのためにイエス様がお生まれになった』ことを連合聖歌隊の一員として歌い賛美できたことに喜びを感じました。一日中会場の設営準備、受付、片付けなどお手伝いにいらして頂いた皆様に心より感謝申し上げます。

(今井 暁子)



中和田教会のクリスマス

12月24日の夜、今年も多くの方々がクリスマスミサに与っていただきました。要理学校の生徒さんたちによる「朗読劇+聖歌」に引き続き、ご降誕ミサが捧げられました。



講演『我が家に天使がやってきた』に想うこと

新年を迎えまして、神父様、信徒の皆様には素晴らしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年11月29日、夫の詩人・服部剛(ごう)が中和田教会にて講演しました。ダウン症を持つ息子・周(しゅう)の物語を詩の朗読と黙想を交えて行い、40名の方が来て下さいました。一昨年の湘南キリスト教セミナーで行った続編といえるもので、信徒の会の方々のご助力により実現したことを深く感謝いたします。

周は生後3週間でダウン症と告げられ、私たち夫婦は絶望の闇に陥りました。そこに一筋の光が射し、新たな価値観と希望と共に家族3人で生きていけるようになったのは、夫の語る話に涙したり頷いたり、真剣にテキストを読む皆様のような、人々の心の温かさに触れたからでした。告知直後から4年を経た今の周を詠んだ数々の詩の朗読を聴き、私自身もしみじみと振り返ることができました。そして、周という存在がこの世に生まれてから、本当の意味で私たち家族の物語と信仰が始まったのだ、と気づきました。

講演では夫の恩師、中和田所属の哲学者・小野寺功先生とのご縁と長年のご研究『西田哲学と聖霊論』についても触れました。「イエスが最後の晩餐で遺言として弟子たちに語った<互いに愛し合いなさい>という言葉の<互いに…>という感覚を心から生きる時、人と人の間には復活したイエスの霊である<聖霊の風>は吹くのです」という先生のメッセージを共有しました。皆様との時間自体が、西田幾多郎の「場の哲学」とカトリック信仰の核心である「三位一体の秘儀」に重なるものであり、聖霊の風が吹くひと時となりました。

講演後はわかれ合いの時間を持ちました。各々が語る人生の深いお話には胸が熱くなるものばかりで、勇気と安らぎをいただきました。「中和田には天分をもった一人ひとりが存在する。この力を結集すれば、きっと何かを成すことができる」と述べた小野寺先生のお言葉に、中和田教会の輝く未来が見えるようでした。

(服部りえ子)



委員会だより

(文中敬称略)

△12月12日(土) 8名出席▽

■各グループからの報告

●バザー委員会(小野(和))

・11月22日に最終バザー委員会(反省会)を開催した。とくに大きな問題はなし。

・皆様のご協力により、ミニバザーを含めて、予想以上の売り上げを達成した。(売上金額は報告書に記載した)

●信徒の会(今井)

・11月29日(日)に、服部剛さんの「詩の朗読とお話会」を行った。40名の参加があり、その後のお弁当をいただきながらの分かち合いも20名が残られ好評だった。

・25日のクリスマスのミサ後に、集会室でコーヒー、お茶などを用意する予定。

●行事(井上)

・クリスマスは、24日の夜はパーティーなしでお菓子を200個用意し、25日はミサ後に茶話会を用意する予定。

・日野神父様の金祝の祝いの準備委員会が2回開かれた。今迄の所では、祝賀会の実施日は、5月1日(日)で、会場は南農協の予定。お祝いのための献金箱を置いた。その他の詳細は1月中に検討する。

●総務(小野(和))

・1月のスケジュール確認。

●広報(武田)

・原稿依頼(締切12月23日)

●福祉(楠田)

・ホームレス支援のためのお米、食品を戸塚教会に届けた。

・末吉町教会に、毛糸の帽子を持って行った。

・「旅路の里」に冬物の衣料や毛布を送った。

●宣教(岩崎)

・区民クリスマスのお手伝いは、皆様のご協力により予定した人数が集まりました。

・12月19日(土)に、「リバーサイド泉」に聖歌隊が訪問の予定。

●要理(森脇(彰))

・クリスマスの出しものの練習を先週から始めた。「朗読と歌」をご披露する。

・12月20日(日)は、子どもの「ゆるしの秘跡」の後、子ども達のクリスマス会をする。

●典礼(小野)

・12月～1月の典礼暦確認。

・教令に基づき、11月29日から典礼の一部を変更した(内容は広報11月号を参照)。

・総則変更にともない、カトリック新聞連載を纏めたプリントをお聖堂に用意した。

・横浜教区典礼研修会が、2月11日(祭)に藤沢教会で行われる。

・テーマ…『典礼憲章』～これまでとこれから～
講師…フランコ・ソットコルノラ師、市瀬英昭師、宮越利光氏

●副委員長(岩崎)

・11月29日に第5地区共同宣教司牧委員会が行わ

れた。その中の「伝える部門」で、第5地区全体での「信徒の集い・交流会」が提案され、継続検討されることになった。

■その他報告事項

・月修配布資料が、配布された。

・教会建物の件は、教区への依頼を出す予定。(資金、その他)そのために、建物を考える会で検討したことをまとめている。修繕費がかさんだこと、今後更にかさみそうなこと、高齢者への目配り、外部の方へのアピール、建物のレイアウトの工夫など。

■討議事項

・成人式の該当者は、6名で、往復はがきで案内を出す。

・大掃除は、12月20日(日)のミサ後に各地区等で分担して行う。

・信徒大会は、1月31日(日)に予定している。

・中和田教会のホームページを大幅にリニューアルしたので、そのお知らせのプリントを用意した。皆様も是非ご確認ください。

以上

(次回委員会 1月10日)

